

いつもありがとうございます。

W8 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・天候的にも、「鍋」というワードに惹かれる期間だと感じます。(販促部:吉田紗知子)



(この文章は 2/7 に作成)大寒波真っ最中です。

寒いから という理由に 物理的な身の危険があるから が、
プラスされる事で外に出ない判断をされる方が多いと思います。
又、寒さに対応しようと、身体が体力を消費する為、
夜家に帰った頃には何もしたくない…となる次第。

そんな中、
「とりあえず食材を切って入れれば、成立する」
鍋 という存在が輝いてみえます。

最近、鍋出汁ベースの種類が豊富なので、
「鍋」という項目で対象にできる **商品の幅も増えました**。
売り場を作る側にもなんと便利なのでしょうか…

冬になると、**エムプランテーションさん・きのこ** シリーズに、
通常よりも多くの注文を頂きますが、これも鍋影響だと感じています。
一番人気はカットぶなしめじですが、
えのきやひらたけ、少し珍しい山伏茸まで 幅広く登場しております。

ねぎ は勿論強く推せますし、**トマト** 鍋の注目度も高く、
体を温める食材・温活 として **生姜** も注目させやすいです。

大寒波は、この発注書が配信される 2/10(月)に少し落ち着くだろうと
予報が出ていますが、まだしばらくは、寒い日が続きます。

是非、しつこいほどでも良いと思うので、このチャンスをご活用ください。

・まだお買い得な状態が続いています！ 北海道 和田農園 やわらか太ごぼう

(有安海)



思っている以上にお買い得な状態が続いています！

見せて頂く多くのお店では、2Mの1本パックで128-158円ほどの販売価格で、同サイズの2本パックは238-258円での販売をされているお店が増えています。

これはその価格で販売をしなければいけないほどの相場になっているのかと思えば、なんでもかんでも高かった時期と比べると、落ち着いてきているように見えます。そう思えば、そこまで仕入れが下がったとしても、販売価格を下げる必要がないと判断するお店が増えたのかと思います。

そうするとアルファの商品が高額に感じにくくなるため、双方とできっと打ち合わせをしたうえで、上手に取り扱うことができれば、市場品との差別化自体もわかりやすくなるため、一度購入したお客さまがから評価を得られれば、高確率でリピートに繋がるはずです。

この和田さんのごぼうのファンを作ろうと思えば、意外と簡単な手法があります。それは店内の2か所にボリュームパックをして、お客さまにアツと思わせる陳列をすることです。

当たり前だと言われるかもしれませんが、入店してすぐの一丁目一番地にキチッと40パックのボリュームを積み、
本来のごぼう売り場にもまた、40パックというボリュームで陳列することで、
圧倒的な販売を記録することができます。

この手法で、たった1店舗で日量40パックを記録したことがあるのですが、
そのお店ではこの手法で、あっという間にお客さまの人気を確保することができました。
私が入社する前のことですが、最高成績としては、1日でなんと720パックも販売することができたお店もあるそうです。

この時は、和田さんのごぼうを使ってのきんぴらごぼうでの試食販売での結果とのことで、
その日の晩御飯提案としても、大記録の手助けになっていたようです。

商談していると良い商品ない？と、たまに言われることがあるのですが、
陳列するだけでたくさん売れる商品を言われているのであれば、ハッキリ言ってアルファードでは持っていません。

和田さんのごぼうも含め、ほとんどの商品が売れると信じ、ある程度の時間をかけ、
工夫を続け売れるまで売り続けることができれば、驚くほどの販売数を記録することが
できるようになります。



そのほかには、
やはりその商品の情報を販売の
邪魔にならない程度に、
できるだけたくさん売り場で掲示する
ことも絶対的に必要だと考えて
います。

数年前にアルファーでは、お客さまがたくさん入っているお店と
そうでないお店の違いを検証してみたのですが、
明確に違うことは、お客さまに開示している情報量が全く違いました。

それも当然ですが、価格だけの情報ではなく商品に対する情報であり、
細かくガラガラとしたものではなく、歩くスピードで把握できる量・内容の情報でした。
アルファーでは商品の情報はコト POP に纏めさせていただいており、
デザイナーが常駐し、ラベルデザインと共に日々コト POP の作成を行っています。
御活用いただけると、幸甚でございます。

・じゃが芋の現況報告 (吉田麻衣)

下の写真は先週の寒波の影響で高橋農園様の畑に積もった雪の写真です。



たぶん 2 cm くらいの積雪です。

この雪のせいで、4 月の中旬くらいには収穫できる予定だったものが、
だいぶ遅れそうだという報告がありました。

なんぶ新じゃがいもは詳しい状況を聞いていませんが、この寒波の前に聞いたところだと、
1 月末の時点で春掘りの分は遅れて 5 月にならないと難しいだろうと聞いています。

島原(長崎県) 2025年2月(日ごとの値) 主要要素

日	降水量			気温			湿度		風向・風速					日照 時間 (h)	雪		
	合計 (mm)	最大1時間 (mm)	最大10分間 (mm)	平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)	平均 (%)	最小 (%)	平均風速 (m/s)	最大		最大瞬間			最多 風向	降雪の深さの 合計(cm)	最深積雪 (cm)
										風速(m/s)	風向	風速(m/s)	風向				
1	245	55	15	8.2	11.1	6.1	85	46	2.7	8.1	北北西	16.5	北西	北	0.0	///	///
2	0.0	0.0	0.0	9.7	13.5	6.4	76	59	4.7	7.7	北	15.4	北北西	北北西	4.8	///	///
3	0.0	0.0	0.0	7.2	10.4	2.3	52	26	2.6	5.3	北西	12.6	北	北西	2.1	///	///
4	0.0	0.0	0.0	1.9	4.8	-0.7	52	40	3.1	5.9	北西	13.5	北北西	北西	7.3	///	///
5	1.0	0.5	0.5	2.1	5.8	-2.7	58	37	2.7	5.0	西	13.9	北北西	北西	3.7	///	///
6	0.0	0.0	0.0	2.5	5.0	-2.4	57	36	2.2	5.3	北	11.8	西	北北西	4.4	///	///
7	4.0	2.0	1.5	2.1	7.5	-1.2	68	45	2.3	6.3	北北西	18.5	北	北北西	1.6	///	///
8	0.0	0.0	0.0	0.5	4.8	-4.5	59	35	2.2	5.3	北	11.6	北西	北西	6.0	///	///
9	0.0	0.0	0.0	1.3	5.5	-3.9	66	44	1.3	3.3	西北西	8.0	西北西	西南西	4.9	///	///

上記の表は気象庁の2025年5月の分の気象データです。積雪こそないものの、2月4日から5日連続最低気温が0度を下回っています。2023年、2024年は同じ期間で一度たりとも0度を下回っていないので、今年の気候の異常さが際立ってしまいます。

先週の人参の記事の時に、大阪と東京でメイン産地の違いが出てきたので、じゃが芋も調べてみました。

コード	都道府県	総計
	総計	27,322,429
1	北海道	15,932,482
42	長崎	4,704,500
46	鹿児島	4,613,090
2	青森	703,190
12	千葉	446,720
43	熊本	248,490
8	茨城	479,160

コード	都道府県	総計
	総計	70,972,739
1	北海道	45,527,276
46	鹿児島	12,501,161
42	長崎	8,609,572
22	静岡	1,486,507
8	茨城	1,854,627
12	千葉	740,884
43	熊本	252,712

左が大阪の市場、右が東京の市場になります。年間の取扱量になるわけですがどちらも北海道がぶっちぎりで次に九州、関東と続くようです。

大阪の市場では、北海道産が 6 割弱、九州産で 3 割 5 分くらいの割合です。

東京の市場では、北海道産が 6 割 4 分、九州産で 3 割くらいの割合になります。

長崎産は通常であれば 11 月くらいから 1 月いっぱい、4 月から 7 月いっぱいの収穫、出荷になります。

鹿児島産は 1 月から 5 月いっぱいだったり、6 月いっぱいだったりという長崎産を補填する形で（見かけ上は）出荷されることになります。

鹿児島県のじゃが芋のメイン産地は、沖永良部、長島地区、なんぐう地区のようなので、長島地区は高橋農園様の状況で十分に理解できるかと思しますので、今度は沖永良部の状況。

沖永良部(鹿児島県) 2025年2月(日ごとの値) 主要要素

日	気圧(hPa)		降水量(mm)			気温(°C)			湿度(%)		風向・風速(m/s)				日照時間(h)	雪(cm)		天気概況		
	現地	海面	合計	最大		平均	最高	最低	平均	最小	平均風速	最大風速		最大瞬間風速		降雪合計	最深積雪値	昼(06:00-18:00)	夜(18:00-翌日06:00)	
	平均	平均		1時間	10分間							風速	風向	風速						風向
1	1012.1	1015.5	4.5	1.5	1.0	19.1	21.2	17.8	83	67	6.2	11.9	南	15.9	南南西	0.4				
2	1008.9	1012.3	1.0	1.0	0.5	17.7	19.5	16.7	74	61	6.3	9.4	北	12.9	北	1.4				
3	1012.4	1015.9	3.0	1.5	0.5	15.4	17.3	11.6	67	55	8.5	13.2	北	18.0	北	0.0				
4	1016.1	1019.7	0.0	0.5	0.5	11.4	13.3	10.1	62]	58]	9.6	11.6	北北西	20.1	北北西	0.2				
5	1017.2	1020.8	0.0	0.0	0.0	12.3	14.3	10.7	×	×	7.2	10.7	北西	17.0	北西	1.8				
6	1018.3	1021.8	0.0	0.0	0.0	13.7	15.3	13.0	×	×	5.7	8.2	北	12.3	北北西	0.2				
7	1018.6	1022.2	2.0	1.0	0.5	11.7	13.3	10.3	×	×	6.9	10.5	北西	17.0	北北西	0.0				
8	1020.1	1023.7	1.5	0.5	0.5	11.2	13.5	9.0	×	×	9.0	11.8	北	17.5	北北西	3.7				
9	1020.2)	1023.8)	1.5)	1.0)	0.5)	12.3)	14.6)	10.4)	67]	64]	6.1	9.3	北	13.4	北	3.4				

こちらは直近の天気は問題なさそうです。

沖縄に近いので当たり前といえば当たり前なのですが。

昨年 11 月に沖縄・奄美地方で発生した線状降水帯が発生したのですが、

そのために、与論島で毎年お願いしている里芋が今年は断念せざるを得ない状況になりました。

沖永良部は影響を受けるか受けないかぎりぎりの位置にありました。

沖永良部といえば、過去付き合いのあった上村ファーム様の栽培履歴が残っていたので、

調べてみると定植は 10 月の上旬ごろ。

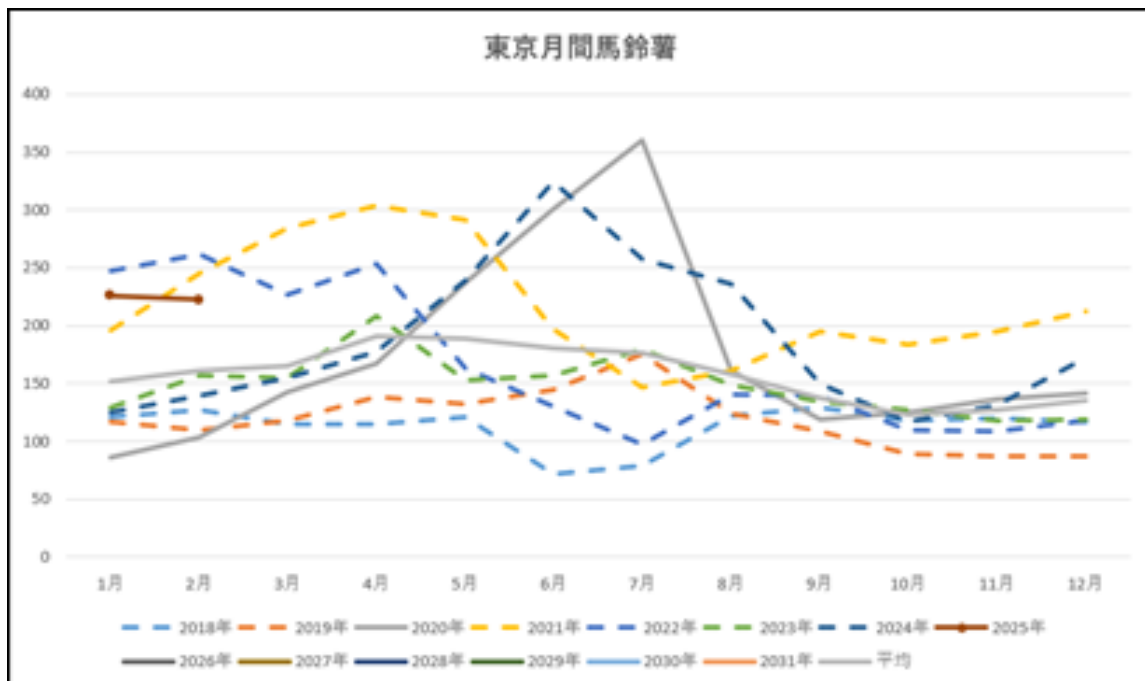
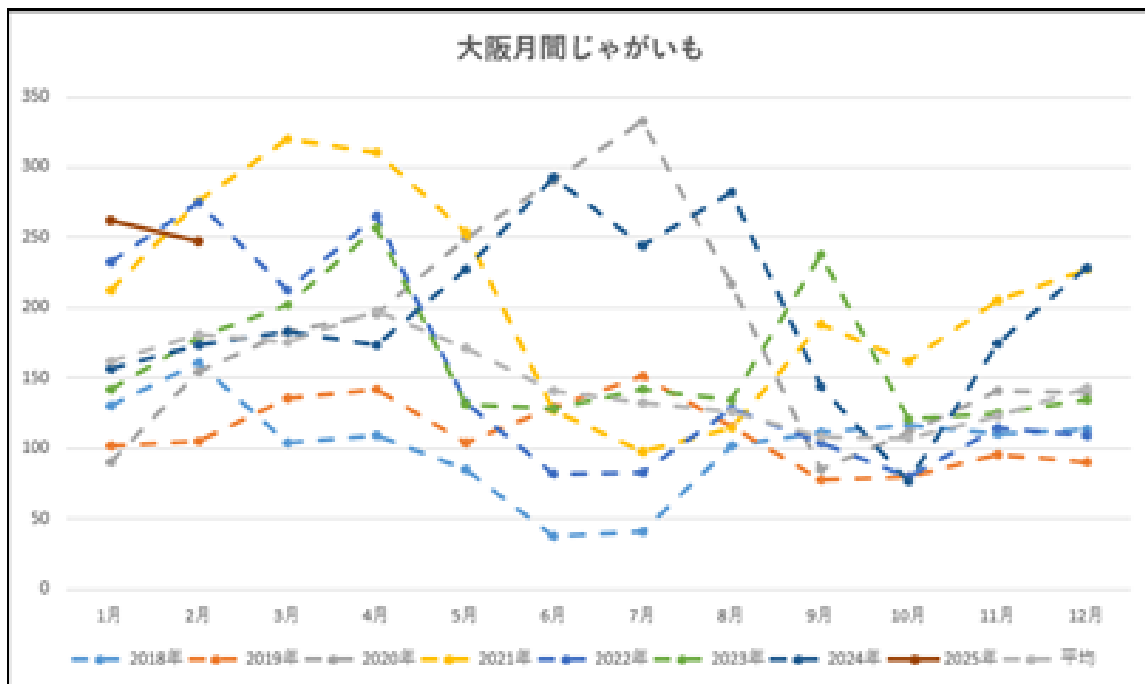
線状降水帯が発生したのが 11 月 9 日なので、だいたい 1 か月後ということになります。
線状降水帯が発生した日の前後で、合計の雨量が 3 日間で 250mm だったので、
沖永良部の排水能力が不明であるため何とも言えないのですが心配は残ります。
なんぐう地区は正直よくわからないので割愛させていただきます。



上記の画像は昨日撮った地元スーパーの価格 POP です。

ばれいしょ、メークインは北海道産。新馬鈴薯は長崎県産でした。

どれも 500g で画像の価格です。



上が大阪、下が東京のじゃが芋の相場ですが、寒波の前までの相場が反映されています。長崎、鹿児島は遅れる、もしくは収穫量が少なくなる可能性が大いにあるので、ここから相場はまた上がっていくのではと予想しています。

非常に前置きが長くなりましたが、申し訳ございませんが再度価格を上げさせていただきます。

少なくとも5月までは相場が高いままであり、次の産地である静岡、
関東の状況次第では北海道が出てくるまでは
消費者が疲れない限りはこの状況が続くと思います。
もっと前向きな情報が出せればうれしいのですが、今の青果の相場観を考えると私の場合
こんな情報になってしまいます。

・新登場

長崎県産 特別栽培 なんぶ新じゃがいも・・・数量限定で新登場。
鹿児島産 高橋さんの新じゃがいも S・・・数量限定で新登場。
大阪府産 式守さんの麗紅
青森県産 有機栽培 Organic にんにく
長崎県産 特別栽培 なんぶスティックセニョール

・商品案内変更

ジャガイモ類・・・価格変更。値上げ。
新登場予定商品追加
大阪府産 式守さんの蔵出し熟成みかん・・・LM 在庫僅少。
北海道産 和田農園 インカのめざめ・・・在庫僅少。
鹿児島産 特別栽培 松下さんのスナップエンドウ・・・価格変更。値上げ。

・終了

・3月新登場予定

長崎県産 特別栽培 なんぶ新玉ねぎ・・・w11 より新登場予定
長崎県産 特別栽培 なんぶスナップエンドウ・・・w11 より新登場予定
宮崎県産 特別栽培 野中さんの誠のブロッコリー・・・w12 より新登場予定
熊本県産 特別栽培 吉田さんの不知火・・・w13 より新登場予定

それでは、今週も御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

有限会社アルファー

吉田清一郎